

ふくしま復興 情報化フェア

2012
入場
無料

ICTで人とつながる、ふるさとを興す



平成24年
11/21 水
10:00
17:00

- 1 基調講演 津田大介氏**
震災復興で期待されるソーシャルメディアの役割と可能性
- 2 プレゼンテーション**
ICTを活用した復興に向けての取組事例の紹介
- 3 展示ブース**
災害対策や復興に資する最新ソリューションの紹介
- 4 地域情報化セミナー**
総務省地域情報化関連施策説明

コラッセふくしま (福島市三河南町1番20号)

【実施体制】
主催／福島県高度情報化推進協議会 福島県
共催／総務省東北総合通信局 東北情報通信懇談会
後援／福島県教育委員会 福島市長会 福島県町村会 福島県商工会議所連合会 福島県商工会連合会
一般社団法人福島県情報産業協会 福島県中小企業団体中央会 福島県農業協同組合中央会
公立学校法人会津大学 東日本電信電話株式会社福島支店 福島民報社 福島民友新聞社
NHK福島放送局 福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送 テレビユー福島



問い合わせ先

福島県情報政策課(福島県高度情報化推進協議会事務局)
☎024-521-7134 FAX024-521-7892
E-mail : jouhou_seisaku@pref.fukushima.lg.jp

4F 多目的ホール
基本講演 10:30 ▶ 12:00

主催者挨拶
PREV 10:25 ▶ 10:30

プレゼンテーション
13:15 ▶ 15:45 NEXT

震災復興で期待されるソーシャルメディアの役割と可能性

1973年生まれ。東京都出身。早稲田大学社会科学部卒。関西大学総合情報学部特任教授。早稲田大学大学院政治学研究科ジャーナリズムコース非常勤講師。J-WAVE「JAM THE WORLD」ナビゲーター。NHK「NEWS WEB 24」ネットナビゲーター。一般社団法人インターネットユーザー協会(MIAU)代表理事。メディア、ジャーナリズム、IT・ネットサービス、コンテンツビジネス、著作権問題などを専門分野に執筆活動を行う。ソーシャルメディアを利用した新しいジャーナリズムをさまざまな形で実践。ポップカルチャーのニュースサイト「ナタリー」の創業・運営にも携わる。主な著書に『Twitter社会論』(洋泉社新書y)、『未来型サバイバル音楽論』(中公新書ラクレ)、『情報の呼吸法』(朝日出版社)、『動員の革命』(中公新書ラクレ)ほか。

ジャーナリスト/メディア・アクティビスト

津田 大介 氏



プレゼンテーション① 13:15 ▶ 13:55

ソーシャルメディア時代の 助けあいのカタチ

公益社団法人
助けあいジャパン 代表理事 **野田 祐機 氏**

ソーシャルメディアをきっかけに結成された助けあいジャパン。そのミッションは、できるだけ正確な情報をとどけること、助けたい気持ちがある人の、ヒントやきっかけになること、そして、過去にしないこと、いっしょに未来をつくること。助けあいのカタチはひとつではありません。本プレゼンテーションでは、IT・ソーシャルメディアを通じた様々な助けあいのカタチを紹介します。ぜひ、あなたも、なんらかのカタチで参加してください。よろしくお祈りします。

地域情報化セミナー 総務省地域情報化関連
施策説明
16:00 ▶ 17:00 東北総合通信局

プレゼンテーション② 14:10 ▶ 14:50

マイクロ投資が支える 被災地の産業復興

ミュージックセキュリティーズ株式会社
代表取締役 **小松 真実 氏**

NHK「サキどり」や「クローズアップ現代」などで紹介された、ミュージックセキュリティーズ社(MS社)の東日本大震災で多大な被害を受けた企業の復興を応援する「セキュリティ被災地応援ファンド」。1口1万500円で、福島県の大木代吉本店など34社の復興を応援することができます。WEBサイトによるECやソーシャルメディア等を通じたPRにより、これまでに日本全国の2万5000人から8億円が集まっています。セキュリティ被災地応援ファンド以外にも、純米酒ファンドや老舗木工メーカーの挑戦を応援するファンドなどを取扱うMS社のファンドの仕組みを紹介します。

プレゼンテーション③ 15:05 ▶ 15:45

エリア放送とインターネットで 結ぶ、南相馬チャンネル

南相馬市
情報政策課 課長 **佐藤 祐一 氏**

「南相馬チャンネル」は、仮設住宅を中心とした地域社会のコミュニケーションの円滑化を目指して、市の行事や生活情報、復興状況などを取材し届けるとともに、市のお知らせや市内各地の放射線モニタリング情報等をデータ放送にて視聴者に届けています。これをさらに発展させ、多くの被災自治体が情報発信主体として参加できる体制の構築や、全国の避難者が特別の負担なしに視聴できる環境の整備など、オール被災地の情報をオールジャパンの避難者に届ける「東日本復興チャンネル」の実現に向けた活動も含めて、南相馬市の復興に向けた取組を紹介します。

展示ブース 3F 企画展示室 10:00 ▶ 17:00

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| ① モバイルを活用した復興支援の取組外 | (株)NTTドコモ福島支店 |
| ② ふくしまの復興を支援するソリューション | (株)エフコム |
| ③ 衛星携帯電話外 | KDDI (株) |
| ④ 電子書籍 | (株)ココム |
| ⑤ 震災時のバックアップ事例、テレワークによる事業継続実証実験 | (株)コンピューターシステムハウス |
| ⑥ TOHKnet ServeMail レンタルサーバーサービス外 | 東北インテリジェント通信(株)福島支社 |
| ⑦ 蓄電システム外 | 日本電気(株)福島支店 |
| ⑧ 文書電子化の推進、セキュリティ対策 | 富士ゼロックス福島(株) |
| ⑨ スマートシティ、食・農クラウド、エリアワンセグ、放射線測定外 | 富士通(株)福島支社 |
| ⑩ 情報ステーション、WEB171、一斉情報配信メッセージシャワー外 | 東日本電信電話(株)福島支店 |
| ⑪ 健康管理システム | (株)FSK |
| ⑫ 多機能電話システム | (株)シンク |
| ⑬ 携帯連絡網 グルリン2.0システム | (株)東日本計算センター |
| ⑭ スマートフォンで車車間通信システム | 福島コンピューターシステム(株) |
| ⑮ 音声認識議事録システム | (株)福島情報処理センター |
| ⑯ 産学連携の取組 | 会津大学 |